

日時	2024年 12月 7日 (土) 9:45 ~ 10:30 天候：晴
場所	なにわ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察園・野草広場
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト
参加者	13名(うち子ども 名) 構成:一般参加 0名、エコボラ 13名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	野草広場再生のための維持管理、草刈り、杭・ロープの補修、生き物調査
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 草刈り管理図 (事前レク) 鎌、ハサミ、かけや、杭、ロープ、熊手、一輪車、札
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・山のエリアが立入禁止となっている。この時期は来園者の踏圧が少ない。このタイミングで大規模に草刈りをして、環境に変化をつけるのもよいかもかもしれない。 ・低く刈って日があたるようにする場所と、そうでない場所の濃淡をつけるのが、よいと思われる。 ・30分の草刈り後に、各人が担当する場所に行くが、最後に鎌や一輪車などがそのままになっていた。11:30にエコボラ会議が開始するので、鎌などを片付ける時間を考慮して、道具を使用するかどうか声掛けをしてほしい。各人が作業する場所に広がった後では、そういった配慮ができないので、部屋に戻る前に、確認をしてほしい。
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場内の探検路に沿って、草丈の管理をします。その後、選択的に取り除く草の刈りこみや、実生の樹木苗の抜根、探検路ロープや杭の補修、野草の名札付けなどを行います。その後各エリアでの作業に分かれ、11:30のエコボラ会議にて、作業内容の報告と打合せをすることがあります。軍手をご持参ください。必要人員 7~8名程度。必要人員 10名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
渡辺喜代子	アキノレの抜根	柘元慶子	外周路側に出た樹木苗刈り取り
中村有希	通路全体の落ち葉かき	中谷憲一	昆虫調査
鈴川博司	カラムシ除去	北川ちえこ	草刈り(カラムシ中心に)、植物調査
中島一彦	樹木苗の除去、杭補修	林耕太	草刈り、植物・野鳥調査
高橋満子	草刈り	西田敏子	植物調査
木山正隆	草刈り、ロープ張り直し	岩永圭司	植物調査
竹原秀樹	草刈り、杭修理		

いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年12月7日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



作業前：ススキなどは枯れ始めていた



作業前：カラムシも枯れ始めていた



作業中：実生苗の抜根の作業はたいへんだった



作業後：草丈はかなり低くなった



樹木の実生苗は抜根した



アキノレの実生苗にチャミノがついていた
これは刈り取り朽ち木ピオトープに居いれた

日時	2024年12月7日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・林耕太
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		

野草広場

カンサイタンポポの芽生えのため、周囲の通路や法面の草刈りをして陽が当たるようにし、樹木の抜根をした。法面はカラムシ、広場はヒナタイノコヅチ等を刈った。

実生林創生ゾーン側に初めてセリが生えていた。セリは過去に実生林創生ゾーンに、湿地の土を入れていたのので何回か発生していたが、その種が野草広場に飛んだのだと思う。本来セリは乾燥しがちなところには生えないが、管理されているこの野草広場の土は湿潤であるから発芽したのだと思う。

草本：35種

アメリカフウロ1、アレチギシギシ1、アレチヌスビトハギ 2,3、イヌタデ3、エゾノギシギシ1、オオイヌノフグリ1、オオバコ1、オヤブジラミ1、オランダミナグサ1、カタバミ 1,2、カラムシ1、ギシギシ1?、キンエノコロ3、コセンダングサ 2,3、コナスビ1、ジャノヒゲ1、スイバ、ススキ3、セイタカアワダチソウ1、セリ1、タンポポ属の一種1、チガヤ1、ノチドメ1、ノビル1、ヒガンバナ1、ヒナタイノコヅチ3、ヒメジョオン1、マルバツユクサ3、ミドリハコベ1、ムラサキカタバミ1、ヤエムグラ1、ヤハズエンドウ1、ヤブカンゾウ1、ヨメナ3、ヨモギ1

木本：6種

アキコレ4、アラカシ4、エノキ4、クスノキ4、クヌギ4、ネムノキ●1

動物：4種

キタキチョウ4、クロスジフユエダシャク4、ヒゲナガヤチバエ4、ヤドリバエ科の一種 4

